

## 保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 春和会
施設名	篠崎わんぱく保育園
報告者（役職）	北川 真珠美（主任）
住所・連絡先	東京都江戸川区篠崎町2-19-21
	☎ 03-3676-0189
	E-mail shinozakiwanpakuhoikuen@towakai.com

### ○タイトル（保育計画）

丈夫な体づくりで 子どもたちにイキイキした未来を！

### ○主な助成備品

- ① カラーリング（フラフープ） ② ミニプレイバルーン ③ ハモンドプリンセス  
④ キンダージャンピング ⑤ ウェイブバランス ⑥ サンドボックス（砂場）  
⑦ レインボートンネル ⑧ レインボーバランスストーン  
⑨ ドミノ ⑩ 洗える畳 ⑪ 洗えるカーペット 等

## 1. 実施した保育計画策定の目的

篠崎わんぱく保育園の母体である桐和会はクリニックをはじめとして、老人保健施設等、病気になっても安心して自分らしく人生を送る手伝いに長年尽力してきました。だからこそ、私たちは「丈夫な体」であることの素晴らしさや大切さを実感しております。

「丈夫な体」こそが人生の可能性を広げ生きる力を育む基盤となり、何歳になっても自分らしくイキイキした毎日を送れることを目指し、運動機能の発達が著しい乳幼児期の子どもたちに対し、毎日の遊びの中で多様な動きを体験させ、この「丈夫な体」をつくるプログラムをと思い、この保育計画を考案しました。

## 2. 具体的な実施内容

### ○乳児（0・1・2歳）

子どもの姿：行動範囲が広がり、運動機能が発達し始める

ねらい：「動きたい」という子どもの意欲を満たすと共にほどよい刺激を与え運動機能の発達を促す

環境設定：安心で安全、且つ感触の異なる様々な素材の床を設置する  
「洗えるカーペット」を設置

## ○幼児（3・4・5歳）

子どもの姿：基本的な運動機能・バランス感覚が発達し、体の動きが巧みになる

ねらい：異年齢の関わりの中で運動機能を高めると共に、協調性や社会性を育む

### 環境設定

室外：思い切り体を動かすには十分なスペースでない当園の事情を踏まえ、戸外でじっくり遊びこむ活動を行うことを目的に「サンドボックス（砂場）」を設置する



室内：以下の目的のため、適した遊具を設置する

#### 目的

★登る・バランスをとる・くぐる・はう・飛ぶ・かがむ・つかむなどの動きを経験する。

それらを経験するために以下の遊具を設置

- ① ウェイブバランス平均台
- ② レインボーバランスストーン
- ③ レインボートンネル
- ④ キンダージャンピング
- ⑤ カラーリング
- ⑥ 木製ドミノたおし500コンテナBOX

★かがむ、立ち上がるなどの動きと共に仲間と協力する力、相手を思いやる力を育む。

それらを経験するために以下の遊具を設置

- ⑦ ミニプレイバルーン

★リトミックを通し、リズム感や体を動かす楽しさを知る

それらを経験するために以下の遊具を設置

- ⑧ ハモンドプリンセス

様々の音楽が出るオルガンの様な楽器

### 3. その成果と結果

以下の運動能力（動き＋筋力）の発達。

遊具	育んだ動き	育まれた筋力
① ウェイブバランス平均台	平衡性・敏捷性	瞬発力
② レインボーバランスストーン	平衡性・敏捷性	瞬発力
③ レインボートンネル	柔軟性・敏捷性	持久力
④ キンダージャンピング	柔軟性・敏捷性	瞬発力
⑤ カラーリング	平衡性・柔軟性	持久力・瞬発力
⑥ 木製ドミノたおし	平衡性・柔軟性	瞬発力
⑦ ミニプレイバルーン	柔軟性	瞬発力
⑧ ハモンドプリンセス	平衡性・柔軟性	瞬発力



① ウェイブバランス平均台  
(長くねくねしているもの)

② レインボーバランスストーン  
(途中にある黄色い丸いもの)



③ レインボートンネル



④ キンダージャンピング



⑤ カラーリング

丈夫な体作りで 子どもたちにイキイキした未来を！！を目的にして保育してきた結果、運動能力発達に伴う自信の構築と「もっと新しいことに挑戦したい」という意欲が育ってきたように思う。また、様々な遊具を通して、友だちとの関わりも活発になり、協調性や社会性なども身につけ、新たな遊び方の創出など、創造性・想像性が豊かになり、遊びのレパートリーが増え、遊びを通して、子どもたちに身につけて欲しい力を身につけることが出来たと思う。

#### 4. 今後の課題と展望

遊びのレパートリーが増え、子どもたちも楽しみながら元気に過ごしているが、それぞれの年齢での活動になってしまうことが多かったので、今後は、獲得した遊びの展開を広げられるように保育士をはじめ、園全体で努力に努め、異年齢での関わりも大切にしながら、引き続き丈夫な体作りに向けて精進していきたいと思う。

また、この成果が本当に現れるのは、子ども達がイキイキした未来を過ごしているかという未来の姿になるが、そういった未来がわんぱく保育園から巣立った子どもたちの元に訪れるように子どもたちと日々関わっていききたいと思う。

以上